

11月の感染症発生状況 (11月25日 現在)  
水痘(水ぼうそう) 1名

これから冬にかけて気をつけたい感染症のうち、長引く咳を主な症状とする感染症についてお伝えします。

空気が乾燥し、気温も下がり風邪をひきやすい時期になってきます。風邪の後、気管支に炎症がおき、喘息や肺炎などに移行し咳が長引くということもあります。しかし、長引く咳の症状の中には、別の原因(感染症)が隠れていることもありますので、お知らせします。

## クループ症候群

症状：ケンケン、ゴーンゴーンというような苦しそうな咳、声のかすれ

潜伏期間：1～7日

予防：予防接種はなく、のどの奥が炎症を起こすため、「風邪かな・・・」と感じたら、早めの受診をすることが重症化を防ぎます。

ケア：特別な治療薬はない。早めの受診と風邪と同じケアが基本になる。咳がひどいときは加湿器や濡れタオルを干したりして、部屋の湿度を保つ。

その他：昼間は少し声がかすれる程度の咳でも、夜間にひどく咳き込むことがあります。夜、子どもが起きて肩で息をしていたり、唇や顔色が青くなったりしているようであれば早急に受診しましょう。

### ☆登園の目安

咳の症状が消失し、医師の診断を受けて全身状態がよくなれば登園可能。

## RSウイルス 保護者に記入していただく、登園届けが必要です。

症状：鼻水や咳、38～39℃の高熱、ゼイゼイという呼吸音

潜伏期間：2～8日

予防：部屋の加湿、唾液からも感染するのでおもちゃの消毒をこまめにする

予防接種：ありません。

母体からの免疫が効かないので、6ヶ月未満のお子さんでも感染します。

その他：大人や年長児が感染しても、風邪の症状程度で済みます。

しかし、年齢が低いほど重症化しやすい傾向にあるので注意が必要。

### ☆登園の目安

呼吸器の症状がよくなり、全身状態がよければ登園可能。登園届けが必須。

## 百日咳 医師による登園許可書(治癒証明書)が必要です。

症状：くしゃみ、咳、鼻水があり、1～2週間たつとコンコンと激しく咳き込む。  
その咳き込みは、2～3分続くこともあり、息を吸うときにヒューヒューという特有の音がする。

潜伏期間：7～10日

予防：母親からの免疫が効かないため、できるだけ早く予防接種をする。

予防接種：あり（三種混合【DPT】ワクチン）

公費で生後3ヵ月より接種可能

母体からの免疫が効かないので、6ヶ月未満のお子さんでも感染します。

その他：処方された抗菌薬を決められた期間服用して治す。

初期のうちに服用すれば2週間ほどで特有の咳は落ち着く。

医師の許可が出た後も咳が出ているうちはマスクをする。

### ☆登園の目安

特有の咳がなくなる、または、5日間の抗生物質による治療が終了するまで登園停止。登園には医師による登園許可書（治癒証明書）が必要。

## 結核 医師による登園許可書(治癒証明書)が必要です。

症状：初期の症状はカゼと似ている。

せき、痰（たん）、発熱（微熱）などの症状が長く続くのが特徴。

この他、体重が減る、食欲がない、寝汗をかく、などの症状も。

ひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰（たん）などがでる。

潜伏期間：一般的に半年から2年（小児ではやや短い）

予防：子どもの場合は、予防接種が有効。大人は、咳エチケット・定期健診が有効であり、2週間以上咳が続いている場合は病院受診することが大切。

予防接種：あり（BCG）

生後1歳までであれば公費適応

## ご注意を!!

嘱託医の先生によると、ノロウイルス・ロタウイルスに代表される感染性胃腸炎の流行が始まっているようです。

手洗い・うがいを保育園でも徹底していきませんが、ご家庭でもご協力をお願いします。

嘔吐物の処理は、次亜塩素酸ナトリウム（6%原液）を300倍に薄めたものを使用するなどの対応が必要です。